

弘前大学農学生命科学部地域環境科学科農業土木プログラム

平成19年度外部委員会（教育目標評価委員会・教育システム改善委員会）合同会議 記録

日時：平成19年12月15日（土） 15：00～16：55

場所：農学生命科学部202室

出席者：〔外部委員〕 山形, 笹森, 田中, 砂沢, 櫻田(隆), 桜田(清)

〔プログラム教官〕 工藤, 泉, 万木, 加藤, 高橋(照), 藤崎

進行：高橋(照)

記録：藤崎

前回の記録の確認

資料の通り承認された。

議 題

（1）教育目標評価委員会

1) 学習・教育目標にかかる中間審査について

中間審査の实地審査経過と一次審査結果報告書の説明があり、学習・教育目標については基準を満たしているとの審査結果が報告された。認定の有効期間について質問があり、3年間有効で2010年度に継続審査があることが補足説明された。そしてJABEEには異議申し立てや改善報告を行わず一次審査結果を受け入れることが了承された。

2) 学習・教育目標にかかる2008年4月発足の新学科への対応について

2008年4月からの新学科でも、現行の体制がほぼ維持されるので、学習・教育目標を維持することが了承された。

（2）教育システム改善委員会

1) 教育システムにかかる中間審査について

中間審査の实地審査経過と一次審査結果報告書の説明があり、弱点（W）判定がなかったとの審査結果が報告された。いくつかの懸念（C）判定への指摘にある「引き続き改善効果を見守る必要がある」という意図について質問があり、認定が継続されても気を緩めないように、という意図ではないかと返答があった。また編入学について「新たなプログラムの発展をお考え頂くよう」という所見への対応について質問があり、現実問題としては代替認定科目の同等性の証明に困難が多く、当面は現在の体制を継続したいとの返答があった。そしてJABEEには異議申し立てや改善報告を行わず一次審査結果を受け入れることが了承された。

2) 教育システムにかかる2008年4月発足の新学科への対応について

2008年4月からの新学科では、カリキュラムに多少変更があるものの、現行の体制をほぼ維持する予定で、カリキュラム確定後に学習保証時間やカリキュラムの流れなどを精査したいことの説明があった。JABEE への変更通知について質問があり、変更が生じた年度中に変更通知を行う必要があるとの補足説明があった。そしてこうした方針が了承された。

3) 教育褒賞選考

事後了承となるが、資料の通り了承された。

4) 在校生・卒業生の学習達成状況

資料に基づき、修了生、在校生の学習達成状況について、全体として順調であることが報告され了承された。

また、修了生の技術士補への登録手続きと登録状況について質問があり、プログラム修了の後技術士会に登録しないと技術士補とならないことやそのことを卒業時にていねいに説明する必要があること、1名の修了生が技術士補登録の申請手続きをしたことの返答があった。転学部生への学習指導や学生の学習態度についての意見交換もあり、ていねいな履修指導を行っていくことと、自発的な学習意欲を高めることについて、今後とも留意していきたいという返答があった。

その他

ある委員からそろそろ委員交代の申し出があった。実情に応じた対応は考えるけれども、2年任期の半ばであり可能であれば委員継続をお願いしたい旨返答があった。

また次回については、今後、外部委員会について年1回の開催とし、新学科体制の報告も合わせて次年度の6～8月くらいを考えているとの連絡があった。